

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 02020090

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	23	多様な交流の促進	事業優先度	A		
単位施策	2	地域間交流の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	地域間交流推進事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	2 財務企画課		
事業主体	雄武町		関係課	9 産業振興課		
事業指標	交流団体数			12 教育委員会教育振興課		
事業目標	4団体(武雄市、益子町、札幌雄武会、東京雄武会)		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	ふる郷ふれあい交流会、札幌雄武会等への町民参加	関係例規・法令名	無		
			関係個別計画名	無		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売
	計 画 事 業 費	事業費(千円)	9,077	1,557	1,880	1,880	1,880
		財源内訳					
		国庫支出金	0				
		道支出金	0				
地方債		0					
その他	1,500	300	300	300	300		
一般財源	7,577	1,257	1,580	1,580	1,580		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,338	1,399	1,939	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	588	279	309				
一般財源	2,750	1,120	1,630				
関 連 事 項	特定財源の名称 ふる郷ふれあい交流会 参加会費	【評価・実績】	(実施内容等) ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 ※事務事業評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) ・ふる郷ふれあい交流会開催 ・札幌・東京雄武会への食材提供等 ・武雄市交流事業負担金 ・益子町産業祭での特産品販売 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	4団体	4団体	4団体	4団体	4団体
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	90%	103%	0%	0%	0%
		全体達成率	15%	37%	37%	37%	37%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	地域間交流推進事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	佐々木 幸博
		評価者 作成者 職氏名	財務企画課長補佐	大 水 寛 仁

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	既存の交流団体との交流継続	
【抱える課題やニーズは】	行政主導の交流が多い中、民間における交流拡大を図る必要がある	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	行政と民間がそれぞれの役割を理解し、交流をさらに発展させる	① 交流団体数/武雄市・益子町・札幌雄武会・東京雄武会	目標年度	平成26年度
			目標値	4団体
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	既存地域・団体との信頼関係を強化し、地域経済の活性化、ふるさと意識の向上を図る	②	実績値	4団体
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	ふる郷ふれあい交流会の開催	産業観光まつりの開催に際し、ホテル日の出岬を会場に、佐賀県武雄市・栃木県益子町・札幌雄武会の方々と町民が一堂に会し、交流を図った		
	武雄市・益子町との交流	佐賀県武雄市物産まつりや益子町産業祭に参加、人的交流や特産品のPR、参加経費等の支援を行った(武雄市物産まつりにおいて、町職員と団体職員による現地販売を初めて実施した)		
	東京雄武会・札幌雄武会との交流	毎年開催される「ふるさと会」に参加し、特産品の提供等を行った		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	既存地域・団体との交流は、長い歴史の中で育まれてきた経緯があり、行政が関与してさらに発展させることも必要であるが、民間主導にシフトしていく視点も重要である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	計画どおりの事業展開となっており、交流団体数、交流者数も維持され、また、民間での交流も継続している
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	ふる郷ふれあい交流会については、参加者から会費を徴しており、効率的な実施に努めている。武雄市・益子町との交流についても、必要な助成支援にとどめているが、人的交流(雄武町から武雄市への参加者)を拡充した
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	ふる郷ふれあい交流会への参加については、広く町民に周知するとともに、参加の機会を提供しており、参加者からは会費を徴しているため公平と判断する
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
継続的な交流を進めている中、武雄市物産まつりにおいて、町職員と団体職員による現地販売を初めて実施するなど、事業の充実を図ることができた		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
行政と民間がそれぞれの役割を理解しながら、交流を継続していくとともに、四半世紀を超える武雄市との交流については、産業形態や地理的条件など双方の地域特性を活かした交流により相乗効果を高めていくことが重要である		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止